

AFS 北神奈川支部は多くの人に支えられて 2022年も留学生を迎えることができました。 今年もよろしくお願い致します。

AFSの活動も、コロナに振り回されないwithコロナの暮らしとともに、通常の状態に近づきつつあります。2022年の秋組は年間生が以前同様10カ月滞在の予定で来日しました。12月現在、北神奈川支部には短縮を余儀なくされた春組生、アジアの架け橋生と合わせて8名の留学生が滞在しています。

たいへんな状況下でも留学しようと思った生徒たち、それを送り出した保護者の方々の強い気持ちと、そして、ホストファミリーとして生徒の受け入れを決断されたご家庭に、感謝とともにその寛容さに頭が下がります。一方、派遣生も少しずつ希望者が戻ってきました。送り出す保護者の方々の気持ちを考えると、こちらこそさぞ勇気がいったことだと思います。

AFSの活動を通して、すべての関係者が異文化体験を楽しみ、他者を理解する努力をし平和を希求する、その一助になればと心から願う次第です。



水墨画体験



8/4、支部LPのお母さまを講師にお願いし、水墨画体験会を行いました。生徒たちは自力で朝から電車とバスを乗り継ぎ、講師宅に無事に到着。墨と筆で描いたオリジナルの団扇を作成しました。初めての体験にもかかわらず案外上手にできて大満足。それぞれの作品に個性が出てます！



民家園遠足

11/13、紅葉が綺麗な日本民家園に25人で遠足に行きました。

大学生のリーダーの先導で、留学生、派遣生、ホストファミリーが広い園内を歩きました。奥の野外劇場で参加者全員が1人ずつみんなの前で、留学してみてわかったこと、等をテーマにスピーチしました。目印に青いバンダナを巻いて、全員と話をすることを目標に沢山おしゃべりしました。午後から雨予報でヤキモキしましたが、暖かく穏やかな天気に恵まれ、野外ベンチでお弁当を食べることも出来ました。



着物とお茶の会

④横浜市地区センター

12/11、元ホストファミリーのTさんとそのお仲間が企画を立ててくださいました。

留学生たちは到着した順に、前もってそれぞれに似合いそうな柄を選んで用意して下さっていた着物を順次着付けてもらい、留学生同士でヘアメイク。記念撮影ののち、お茶を頂きました。その後、先生のご指導で自分たちでお茶を点てる体験も。和気あいあいのとても楽しい一日でした。



寄付のお願い

支部の活動は、皆さまからのご寄付で支えられています。

使途の内訳は留学生や派遣生との交流行事、会場費、留学生の学校用品や交通費など、またこれまで支部で企画してきましたがコロナ禍で途絶えておりました広島平和学習旅行、異地域交換などを復活していきたいと思っております。ぜひともご協力お願い致します。

寄付は所得税の免税措置が受けられます。

(1) 口座振り込みの場合：

振込先：ゆうちょ銀行 00140-2-448875

口座名義：公益財団法人AFS日本協会北神奈川支部

(2) クレジットカードの場合：



<https://jpn.afsglobal.org/AFSGlobal/jpn-donation/donate>

→ 寄付先：「支部会費・支部寄付」を選択

→ 「Select chapter」を「北神奈川」とご入力ください

2022 年春にやって来た生徒です。
よろしくお願いします！



Stephanie Chang (ステファニー)

Stephanie はカナダのカルガリーから、5月に来日しました。森村学園高等部の一年生です。学校では華道部に所属しています。9月の文化祭ではお化け屋敷を友達と工夫して作りました。11月には広島に研修旅行に行き、日本での経験を増やしています。日本の食べもので好きなものはふりかけご飯と、お好み焼きです。



Vi An Vu Nguyen (チェリー)

ベトナムから来ました。6月に来日し、相模女子大学高等部に通っています。ベトナムの学校で、日本語を専攻していたので、高校の友達とも日本語で話しています。日本の文化にも詳しく、浮世絵や落語が好きです。



夏休みには弓道にも挑戦しました。小学生のホストシスターと一緒に「フォー」を作ったり、ゲームをしたりして楽しく過ごしています。

Kaur Jasreen (ジャスリン)

Jasreen はインドのパンジャブという北部出身の17歳で、6月に来日しました。現在横浜翠陵高校に通っています。インドでは乗合での車通学10分でしたが、日本ではDoor-to-Doorで電車とバスで片道1時間の“小旅行”通学を頑張っています。詩を書いたり、ステッチで作品を作ることが好きな女の子です。来日当初は全然出来なかった日本語も毎日勉強して、少しずつ上手になってきています。ホストマザーが作ってくれるオムライスや唐揚げが大好きです。



Olivia Tarvainen (オリビア)

フィンランドから来ました。5月に日本に来て、すでに半年が過ぎました。カリタス女子高校に通っています。部活動はバスケット部に所属し、ほぼ毎日の朝練や放課後練にも他の生徒と同じように参加しています。6月中旬に修学旅行で長崎に。だんだん学校の友達も増えてとても充実した学校生活を送っています。リターナーのホストシスターとホストマザーとの夕食の団らんが楽しく、今では家庭内の会話も日本語です。



2/20 のアジア架け橋 4 期生の歓送会は、対面とズームのハイブリッドで行いました。



7/18、アジアの架け橋 5 期生の歓迎会。ジャスリンとチェリーが紹介されました。



8/28、秋組到着 1 週間オリエンテーションの様子。



9/23 の秋組歓迎会はイタリアの歓送会も兼ねていたので盛大に集まりました。

アメリカ留学体験は私にとって宝物です E.T.さん (AFS-96-97 年アメリカリターナー)

はじめまして！96年に1年間カリフォルニア州ラグナビーチに留学しましたTと申します。現在ボリビア人の夫と二人の娘と大和市に住んでいます。私にとってAFSの1年間は宝物です。

当時テレビ番組の「ビバリーヒルズ高校白書」に憧れアメリカに応募しました。ホストシスターもリターナーだったので、アルゼンチンやチリのホストブラザーも家に一定期間住んでいました。英語とスペイン語が飛び交っていました。ホストマザーはメキシコ育ちで、アメリカのさっぱりした個人主義に慣れなかった私には癒しでした。現在でもFacebook(当時はこんな便利なものはありませんでした)で繋がっています。2017年には家族4人で年末をホストファミリーと過ごしました。子供世代での交流も微笑ましかったです。この夏ニムちゃんを数日間ホストしてみて、当初のおてんばな私にホストファミリーはよく匙を投げなかったと改めて感謝です。



2022 年秋にやって来ました！



Jule Mattea Flatow (ユーレ)

8月の終わりにドイツから来たユーレです。ドイツではバレーボールのクラブに所属、ドイツ語のほかにイタリア語と英語も話せるマルチリンガルな女の子です。相模女子大学高等部に通い、部活はESS(英語劇のクラブ)に入りました。最近バレーボール部にも入りました。海老のお寿司が好きな、とても思慮深くて思いやりのある優しい生徒です。



ユーレからの手紙

初めて日本に来たとき、すべてが夢のように思えました。圧倒され、疲れしました。ホテルでの5日間で、少し落ち着き、やっと日本に来たという思いに慣れることができました。

ホストファミリーと対面した時は、本当に緊張しました。しかし、最初からとても親切にしてくれたので、その必要はありませんでした。

最初のうちは、友達できることがとても難しかったです。しかし、時間が経過につれて、私たちはコミュニケーションをとる方法を見つけました。ホストファミリーと仲良くなるのがとても早く嬉しかったです。私は日本で過ごせて本当に幸せです。学校もとても楽しいです。私はたくさんの友達ができる、一緒に遊びが本当に好きです。また、他の留学生がいることとてもうれしいです。彼らと一緒にいると、困る時も簡単になります。時々、孤独を感じるとき、彼らは私を助けてくれます。

私は本当にすべてのことに、すべての人に感謝しています。ここに來られて本当に感謝しています。



Tommaso Galimberti (トミー)

8月の終わりにイタリアからやってきたトミーは、日本語を独学し、来日した時にはすでに読み書き◎。相模原中等教育学校に通い、剣道部に入っています。目下、日本のいろいろな文化や体験を満喫中です。会った人との出会いを大切に、さりげなく気遣いができる Gentleman なトミーは、留学生仲間からも絶大な信頼を寄せられています！



Nannapat Sawasdee (ニム)

8月の終わりにタイからやって来ました。県立麻生高校に通っています。今まで習った事の無い言語を習得し、英語圏以外の異文化に触れたいと日本への留学を希望しました。ホストファミリーやホストスクールの先生、クラスメイトとの交流の中で色々な経験を楽しんでいます。クラブは国際交流部に入っています。



日本食で一番好きな食べ物はカツカレーで、日本のアニメが大好きです。

Zarane Ella Luize (エラ)

エラはラトビア出身の17才。伊志田高校に通う女子高生です。一見大人しそうな印象ですが、とても気遣いのできる子でバレーボールが得意な活発な生徒です。勉強にも一生懸命取り組んでいて、8月の終わりに来日してから日本語で LINE ができたり日々の努力が垣間見えることがあります。彼女が帰国する頃にどれだけ日本語が上達しているのか楽しみです。



ホストファミリー体験談 K.H.さん

私達がホストファミリーを最初に体験したのはもう23年も前のことになります。それから、北米、南米、ヨーロッパ、そしてアジアと色々な国から留学生がやって来ました。

一緒に生活すると文化の違いや、物の考え方の違いなどがあり悩んだりもしましたが、今になるとそれも良い経験で大切な思い出となっています。

留学生達とは今もメールやSNSを通して交流もあり、再び訪ねてくれる子もいます。恋人を連れて来る時は私の方が緊張してしましますが、成長し大人になった彼らに会える事はとても嬉しい事です。

縁あって、私達の家に来てくれた彼らと交流が続けられる事に感謝!!



イタルからの手紙

2021年冬にブラジルからやって来て、厚木高校に入ったイタルは、勉強はコツコツしっかりできるまじめな生徒でしたが、実は部活を水泳部のほかに剣道部にも入っていたのに学校でそれを言い出せず、うじうじしていたところホストファーザーに叱咤激励されて何とか先生をつかまえて交渉し入部させてもらったという「ヘタレ」な生徒でした。

10ヶ月が経ち日本は いて僕はとても幸せでした。ずっと
あこがれて 行けなかった夢が実現した。この国を
空から見ると瞬間がもう満ちていました。
音で、匂いで、触れていました。ものすごく優しいホスト
ファミリーの家庭にも入れました。あこがれていた日本の高校
生にも入れました。そこで数々の友人も作りました。本当に
最初が忘れられない、掛け替えのない経験でした。
留学中で一番心に残ったことは夏休み中の水泳部
の練習でした。なぜかというと、毎日練習にやるため
にホストファミリーの美味しい食事を見て、さらに他
の皆と一緒に青春を過ごす頑張ったからです。つまり僕の
ホストファミリーと僕は作れた友達かよばにいたからです。
けれど、すべてはこの経験を可能にしてくれた AFS
のおかげです。僕を最後まで支えてくれて
どうもありがとうございました!

字がまだなくてすみません。

10カ月の留学期間を通して優しいホストファミリーと寛容なホストスクールに支えられて、いろいろなことにチャレンジできるようになり、とても充実した留学生活を送ることができました。水泳部で真っ黒に日焼けし一回りも二回りもたくましくなった身体と同様、大きな成長をしたイタルが、帰国前日に残っていた手紙を紹介します。

ホストファミリーの〇さんより

コロナ禍にて2021年12月に来日し県立厚木高校3学期からクラスの仲間入りした至君。しかし3学期では既にクラス内のグループ化・人間関係は固まり、さらに表情の見えにくいマスク姿に黙食ランチとなかなか溶け込むには難しい状況であったようです。

そこで4月新学期からは部活（水泳部、剣道部、物理科学部）に積極的に参加し、交友関係を広げようと頑張りました。部活以外にも体育祭や文化祭等を通じてクラス内で存在感を示し、結果として非常に充実した高校生生活を送ることができたのではないのでしょうか。本人から「青春しました!」と言葉をもらい私達ホストファミリーも嬉しく感じました。厚木高校の皆さまには感謝感謝です。



帰国報告会

北神奈川支部では毎年夏に、帰国したばかりの派遣生の話を聞く帰国報告会を開催しています。同時にこれから派遣される生徒たちの留学に対する決意を述べる壮行会でもあります。今年は、7/31、コロナ禍で早期帰国を余儀なくされた派遣生たちが、短くても濃い留学経験を、数日前に帰国した派遣生は興奮冷めやまぬみずみずしい報告を、帰国して数年たち、現在は医学部に通うE.A.さん、一児の母で一般企業に勤務しながらAFSボランティアも務めるR.T.さんに、留学がその後の人生にもたらしたものについて話してもらいました。



2022年69期派遣生

受入れ生の歓迎会で、スピーチをする派遣生たち。派遣の内定が決まったら、北神奈川支部ではイベントのたびに、テーマを決めてスピーチをしてもらいます。最初のころはオロオロして自信なさげな高校生たちも出発が近くなるにつれて驚くほど自分を表現することが上手になります。

2022派遣生6名：(ITA) M.N., C.O., K.T./ (USA) M.S., K.K./ (HUN) C.D.



ボランティア、ホストファミリー募集中

北神奈川支部のボランティアは、現在留学生8人を担当するLP8名、2名のLPコーディネーター、会計のHさん、イベント時にカメラ係で参加して下さるTさん、様々なシチュエーションで手伝ってくれるボランティア、副支部長2名、支部長の総勢約20名です。

●加えて今年は、留学生の日本語指導に、H先生、H先生が参加してくださいました。また、LP Tさんのお母さまが「水墨画体験」、元ホストファミリーのTさんが「着物とお茶の会」を企画してくださり、楽しく貴重な体験をさせていただきました。

●インスタを始めました。
若いボランティアが担当してくれています。

https://instagram.com/afs_kitakanagawa?igshid=YmMyMTA2M2Y=

●そしてAFSのボランティアで欠かせないのが、ホストファミリー。ホストファミリー、ホストスクールがなければ、留学生は来日できません。皆様のサポートがあってAFSの活動は成り立っています。

★★★ホストファミリーを募集中です。
数カ月でもお願い致します。

